



ACMセンサーによる実車腐食環境評価試験

ACMセンサーにより、自動車の実車腐食環境を定量的に評価いたします。

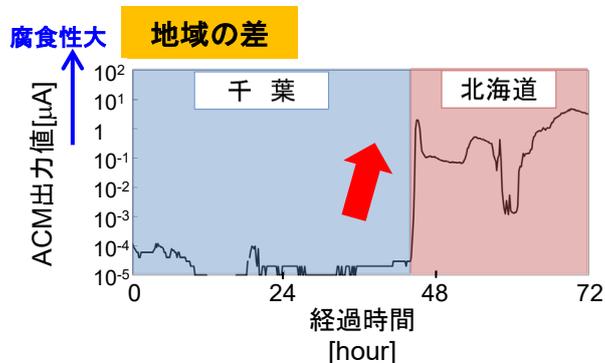
試験の特徴

- 車体の準備からセンサー類の設置、走行試験、解析まで、すべての工程を一貫して受託いたします。
- 実際の走行に問題のないセンサーの取り付け方法をご提案いたします。
- ACMセンサーを用いた実車モニタリング試験には、特許の許諾が必要であり、当社はJFEスチール(株)が保有する特許(特許第4258352号、第4375492)の実施許諾を受けています。

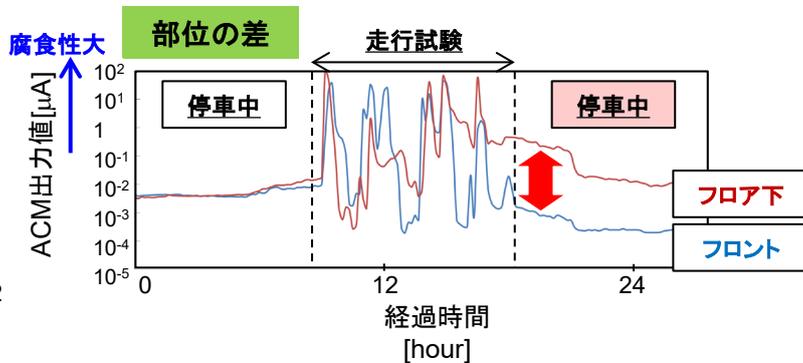


実車走行試験例

- 自動車の各部位にACMセンサーを設置、千葉、北海道(融雪剤散布道路)を走行し、ACMセンサー出力値を連続的に取得します。
- ACM出力値の増加→腐食性大、ACM出力値の低下→腐食性小として、腐食環境の変化を推定いたします。



千葉から北海道へ移動すると、ACM出力値が大幅に増加
→千葉と比較して北海道の腐食環境がより過酷
融雪剤による環境変化を数値化できます。



走行試験後、停車中にフロントよりもフロア下側の出力値が大
→走行による腐食への影響は停車後も継続
フロア下の過酷な腐食環境を数値化できます。

- その他、他の測定ツールを組み合わせることにより、付着塩分量、ぬれ時間、腐食量のデータも取得することができ、腐食挙動の解析、腐食原因の推定等が可能となります。

調査目的	解析項目	測定ツール
腐食環境	・付着塩分量	ACMセンサー 温度・湿度センサー
	・ぬれ時間	ACMセンサー
腐食量	・腐食速度	電気抵抗式腐食センサー
	・腐食減量	腐食試験片